

## ▽はじめに

本書は、漢字と国語の知識事項の定着度を確認し、中学入試に対応する力をつけるためのドリル教材で、5年生までの学習内容を参考に構成されています。

漢字と国語の知識事項は、長文問題の読解に欠かせない基本事項であるうえ、知識そのものが問われることも少なくありません。正確な知識を身につけて、基礎をしつかり築きましょう。

なお、単元の項目は、小社発行の通年用テキストの国語の知識事項と基本的に対応させてありますので、テキストの補助ドリルとしても使用できます。

## ▽構成と特長

- ・全32回で、「漢字の読み書き」10回、「国語の知識事項（漢字、文法、語句の意味・用法）」20回、「知識のまとめ」2回の順に単元が配列されています。
- ・各回は表・裏の2ページ構成です。表ページは、各単元の理解度をつかむための基本の問題、裏ページは、応用問題になっています。
- ・各ページに配点を付けてありますので、理解度がチェックしやすくなっています。
- ・□（チェック欄）を利用して、まちがえた問題はくり返し学習しましょう。

## ▽もくじ

○漢字の読み書き(1).....	1
(4年生までに習う漢字の読み書き—1)	
○漢字の読み書き(2).....	3
(4年生までに習う漢字の読み書き—2)	
○漢字の読み書き(3).....	5
(4年生までに習う漢字の読み書き—3)	
○漢字の読み書き(4).....	7
(4年生までに習う漢字の読み書き—4)	
○漢字の読み書き(5).....	9
(5年生で習う漢字の読み書き—1)	
○漢字の読み書き(6).....	11
(5年生で習う漢字の読み書き—2)	
○漢字の読み書き(7).....	13
(5年生までに習う漢字の総復習—1)	
○漢字の読み書き(8).....	15
(5年生までに習う漢字の総復習—2)	
○漢字の読み書き(9).....	17
(5年生までに習う漢字の総復習—3)	
○漢字の読み書き(10).....	19
(5年生までに習う漢字の総復習—4)	
●知識のまとめ(1).....	20
符号・表記のきまり、短文作り	
●知識のまとめ(2).....	20
語句の意味・用法(1)	
語句の意味・用法(2)	
敬語	
18語句の意味・用法(1)	
19語句の意味・用法(2)	
接続語・指示語	
16接続語・指示語	
15単語の種類(4)助詞・助動詞	
14単語の種類(3)副詞、擬声語・擬態語	
13単語の種類(2)動詞・形容詞・形容動詞	
12単語の種類(1)助詞・代名詞	
11文のきまり（文・文節・単語／主語・述語・修飾語）	
10「い」とわざ・慣用句(2)	
9「ことわざ・慣用句(1)	
8類義語・対義語	
7熟語の組み立て、三字・四字熟語	
6同音・同訓異字、同音異義語	
5漢字の読み方・送りがな	
4漢字の読み書き—(3)	
3漢字の画数・筆順	
2漢字の成り立ち・部首	
1五十音図・かなづかい	

※解答欄下の①～⑤は、その漢字を習った学年（熟語では習った学年のおしい方）を示します。

語では習った学年のおしい方）を示します。

●知識のまとめ(2).....

63

61

59

57

55

53

51

49

47

45

43

41

39

37

35

33

31

29

27

25

23

21

## 1 ドリルアップ 5年

□(25)	□(24)	□(23)	□(22)	□(21)	□(20)	□(19)	□(18)	□(17)	□(16)	□(15)	□(14)	□(13)	□(12)	□(11)	□(10)	□(9)	□(8)	□(7)	□(6)	□(5)	□(4)	□(3)	□(2)
塩氣をふくんだ風。 後足で砂をかける。	白魚のような指。 不幸中の幸い。	力ぜの兆候があらわれる。	先生に教わる。	欠点を直す。	脈を調べる。	国旗をかかげる。	種子の発芽を調べる。	海辺の町でくらす。	関所を通る。	手を量る。	ノートに記す。	目方を量る。	重荷を背負って歩く。	父の消息をたずねる。	役目を果たす。	あてが外れた。	家族を養う。	手を加える。	える	れ	う	る	い
( )②	( )④	( )③	( )④	( )②	( )④	( )④	( )④	( )②	( )④	( )④	( )④	( )④	( )②	( )③	( )④	( )③	( )④	( )④	( )⑤	( )④	( )③	( )④	( )②
~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
わ	る	り	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す	す

1 次の一線の漢字の読みがなを書きなさい。  
〔4年生までに習った漢字の読み書き――1〕

^1点×25

2 次の一線のカタカナを漢字に直しなさい。

^1点×25

## ●漢字の読み書き(1)

氏名

クラス

合計点

月日

/100点

小計
/50点



- (6) (5) (4) (3) (2) (1)
- (4) (1) (2) (3) (5) (6)
- (4) (5) (2) (3) (6) (7)
- (1) (2) (3) (4) (5) (6)

正しいほうを答えなさい。  
試験の日がま□かにせまつてきます。  
のびたりち□んだりするボールペンを買う。  
みんなの前で、は□をかいてしまつた。  
もうだめだと、さ□を投げる。  
は□めまして、わたしが山田です。

2 次の□には「じ・ぢ」のどちらが入りますか。  
正しいほうを答えなさい。  
急に大きな□しんが起こつて、あわてた。  
試験の日がま□かにせまつてきます。  
のびたりち□んだりするボールペンを買う。  
みんなの前で、は□をかいてしまつた。  
もうだめだと、さ□を投げる。

へ1点×6点

例 「は」↓「ハ」と「ワ」  
( )

氏名						
学年						
クラス						
合計点	100点					

5 次の各組のうちかなづかいの正しいほうを選び、記号で答えなさい。  
へ1点×8点

(7) 地面	(7) 王子	(1) 氷	(2) 言う
イ ア	イ ア	イ ア	イ ア
(7) (4) (1)	(8) (5) (2)	(1) (3)	(2) (4)
(8) (5) (2)	(6) (3) (6)	(2) (4)	(3) (5)
( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )

6 次の各組のことがらについて五十音順にならべ、記号で答えなさい。

^2点×4

<input type="checkbox"/> (1)	ア	島根県	イ	鳥取県
<input type="checkbox"/> (2)	ウ	富山県	エ	大分県
<input type="checkbox"/> (3)	ウ	『坊っちゃん』	イ	『二十四の瞳』
<input type="checkbox"/> (4)	『風の又三郎』	エ	『ごんぎつね』	
<input type="checkbox"/> (5)	宮沢賢治	エ	新美南吉	

7 あるクラスの生徒十五人の名前です。これを見て、あとの各問い合わせに答えなさい。

^6点×2

さとうりか	ほndaゆうじ	みよしさなえ
たなかこうじ	いいだゆりこ	わだあきこ
こまつすすむ	しのだみほ	たなかとおる
みずしままい	ささきなおこ	おのみゆき
よしだみか	ふくだしんや	きむらゆうじ

8 このクラスの出席ぼを作るので、生徒を五十音順にならべるとき、八番目の生徒はだれですか。(みょう字が同じときは、下の名前で順を決めます。)

<input type="checkbox"/> (1)	三日月	( )
<input type="checkbox"/> (2)	鼻血	( )
<input type="checkbox"/> (3)	公力	( )
<input type="checkbox"/> (4)	力強い	( )
<input type="checkbox"/> (5)	底力	( )

8 次の漢字をかなづかいに注意して、読みがなをつけなさい。  
^2点×5

9 次の文の中で、かなづかいの正しい文には○をまちがいのある場合はその部分に—線を引き、正しいかなを答えなさい。

^2点×10

ア ねえさんの帰りがまちどうしい。  
イ 町はいちじるしく人口をふやした。  
エ こんにちわ、とおおごえでいう。  
オ すこしづつ成績がのびていて。  
カ こづつみがとどけられました。  
ハ 夏がすぎ、木の葉が色づきはじめた。  
ラ 話のつづきがもつと知りたい。  
シ まつたくあなたの言うとおりでした。  
ス しずかな場所で話をしようよ。

10 次の文章にはかなづかいのあやまりが四ヵ所あります。あやまりのかなに——線を引き、正しいかなをその横に答えなさい。

^2点×4

11 次の文をひらがなで書く場合、どれが正しいですか。あとから選び、記号で答えなさい。  
^2点

きのうは、一日ぢゅうおおさわぎでした。  
とつぜん、おうきなカミナリが鳴りひびき、  
それまで庭で食事をしていた家族わあわて  
て、料理をかたづけたのでした。

王様が大通りを歩く。

ア オおさまがおおどおりをあるく。  
イ オうさまがおうどおりをあるく。  
ウ オうさまがおうどおりをあるく。  
エ オおさまがおおどりをあるく。  
オ オうさまがおおどりをあるく。  
カ オおさまがおうどりをあるく。







